

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能事業所 まいはーとここあ		
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 1日		～ 令和 6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和 6年 10月 1日		～ 令和 6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	6年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○こどもの活動等のスペースが十分に確保されている	○部屋数が多いので、活動ごとの環境設定ができる ○クールダウンできる部屋がある	○活動時に不必要なものを減らしていく
2	○こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで個別支援計画が作成されている	○細かいことでも報告するようにしている ○こどもとの信頼関係を築くことから保護者との信頼関係に繋がる様に意識している	○保護者会の場を増やすことで、職員や保護者との信頼関係や保護者同士のつながりを深めていくことを前向きに検討していく(できれば令和8年度から実行したい)
3	○こどもが安心感をもって通所している ○こどもが通所を楽しみにしている	○いろいろな活動や行事を提供している ○帰ってきたとき「おかえり」「ただいま」のあいさつを大切にしている(家庭的になるように)	○こども自身からやりたいことを聞き出し、実行していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○マニュアルや、安全計画など保護者への周知ができていない ○家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族なども参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない	○契約時だけの説明になっている	○マニュアルなどの作成はできていますが、周知できていないので、保護者交流会などで説明できる場を設けていく ○保護者交流会の場を設定し、その中で研修会を取り入れていく
2	○放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子供と活動する機会がない	○平日は送迎時間がまばらで、活動時間が少ない	○長期休暇時に交流の場を設けていく ○放課後児童クラブや児童館とのパイプ作り ○戸外活動を取り入れていく
3	○避難災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていない	○訓練したことをお便りの活動内容の中に盛り込んでいるだけで、大々的に公表していない	○訓練を行ったときは、何の訓練を行ったのか保護者への周知を行っていく